

博士課程教育リーディングプログラム 平成29年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
機関名	東京工業大学	全体責任者（学長）	三島 良直
類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者	岸本 喜久雄
整理番号	B02	プログラムコーディネーター	波多野 睦子
プログラム名称	環境エネルギー協創教育院		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

人類は、安全性(Safety)と持続性(Sustainability)の確保された2S社会を求めて、エネルギー(Energy)を獲得してきた。産業革命を経て経済(Economy)活動を活発化させ、環境(Environment)問題に直面した。1970年代以降、我が国はこの3Eを時代の要請に応じて政策的に調和させることで発展し、2Sを当然のこととして国際的役割を担うまでになった。東日本大震災は、我が国のみならず全世界に3Eの根底にある2Sの重要性を再認識させた。我が国の復興・発展には、震災以前の歴史体験とは異なる3Eの調和が必要とされる。本学位プログラムでは、環境とエネルギーの両分野において高度な専門性を有し、時空間的にその形態を変えていく問題を複眼的視点から判断できる俯瞰力、的確かつ迅速な自立的課題抽出・解決力、及び国際的リーダーシップ力を兼ね備え、イノベーションを牽引できる2S×3E時代を担う人材を養成する。

2. プログラムの進捗状況

平成29年度は、110名（平成29年10月1日時点）の所属学生に対して、以下の環境エネルギー協創教育を実施した。

- (1) 運営会議を通じた所属学生の選抜、博士課程進学資格認定、博士研究開始資格認定、修了認定、支援スタッフの雇用。委員会等を通じた各協創教育科目群の強化。ホームページ、実績パンフレット、履修ガイド、ニュースレター等による学生募集履修案内、学内外への活動成果の発信。
- (2) 5つの異分野協創コース（先端エネルギー、次世代エネルギー、分子生命環境、地球都市環境、社会経済システム）を構成する異分野協創教育科目群、共通基盤科目群、異分野特定課題研究スキル科目、自主設定論文研究の強化。
- (3) 産官学協創によるリーダーシップ養成コース科目群の充実化。キャリアディベロップメントフォーラム、ビジネス構想コンペティションの開催。
- (4) 海外連携機関との協創による、第6回環境エネルギー国際教育フォーラムの開催、海外メンターによる指導、インターンシップ。